

岡山医療センターでは、下記の臨床研究に対して「●対象となる患者さん」に該当する方へ研究へのご協力をお願いしております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

地域中核病院において、明日からでも実装可能な主治医制とチーム制のハイブリット運用と、実現のための工夫

[研究責任者]

外科 医師 伊達 慶一

[研究の背景]

2024 年 4 月より、医師に対する時間外労働の上限規制の適用、所謂「医師の働き方改革」が開始されます。当院でも働き方改革は導入されつつあります。しかし、病棟管理、事務処理の多くは若手医師で担当しており、長時間の時間外勤務につながっている可能性があります。

そこで2022年11月より若手医師で患者様を全員で担当するチーム制を導入しました。

[研究の目的]

病棟管理において、私たちは主治医制を残しつつ、若手医師で外科患者様全員を担当するハイブリッドチーム制を導入しています。本制度導入後、医師の満足度は高いが、患者様への影響は不明です。そこで本制度導入後の患者様の合併症や入院日数への影響を明らかにすることが目的です。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

外科で手術を受けられた患者さんで、西暦 2022 年 1 月 1 日から西暦 2023 年 8 月 31 日の間に入院手術加療を受けた方

●研究期間

研究実施許可日から西暦 2024 年 12 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検 体：特になし

カルテ情報：年齢、性別、診断名、手術名、手術部位、緊急手術の有無、入院日数、術後合併症の有無、Clavien-Dindo 分類に基づく術後合併症の有無

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[研究の資金源、利益相反について]

この研究は、研究費は用いず実施されます。しかしこの研究における当院の研究者の利益相反^{*}については、当院の研究利益相反委員会で審査され、適切に管理されています。

^{*}外部との経済的な利益関係等によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないと第三者から懸念されかねない事態のこと。

[研究の参加について]

この研究実施への参加や途中での参加中止は、あなたの自由な意思で決められます。

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料（血液・組織等の検体）やカルテ等の情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、この研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

[問い合わせ先]

国立病院機構岡山医療センター

外科 伊達慶一

電話 086-294-9911（代表）